

GLORY writes a new STORY

GLORY

第79回 定時株主総会

The 79th Ordinary General Meeting of Shareholders

2025年 6月20日

グローリー株式会社

報告事項

2024年度 業績結果



P24~44

世界経済

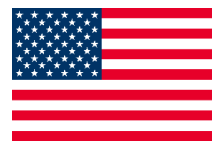
景気は回復基調



米国の通商政策の不透明感



**高い金利水準の継続による
影響が懸念**





日本経済

物価上昇の継続

- ・為替が大きく変動

設備投資・個人消費持直し

- ・企業収益や雇用情勢の改善

当社事業環境は需要が堅調

- ・省人化、業務効率化の
ニーズが継続

2024年度連結業績（売上高・利益）



売上高	3,690 億円	前期比 0.9%減
-----	----------	--------------

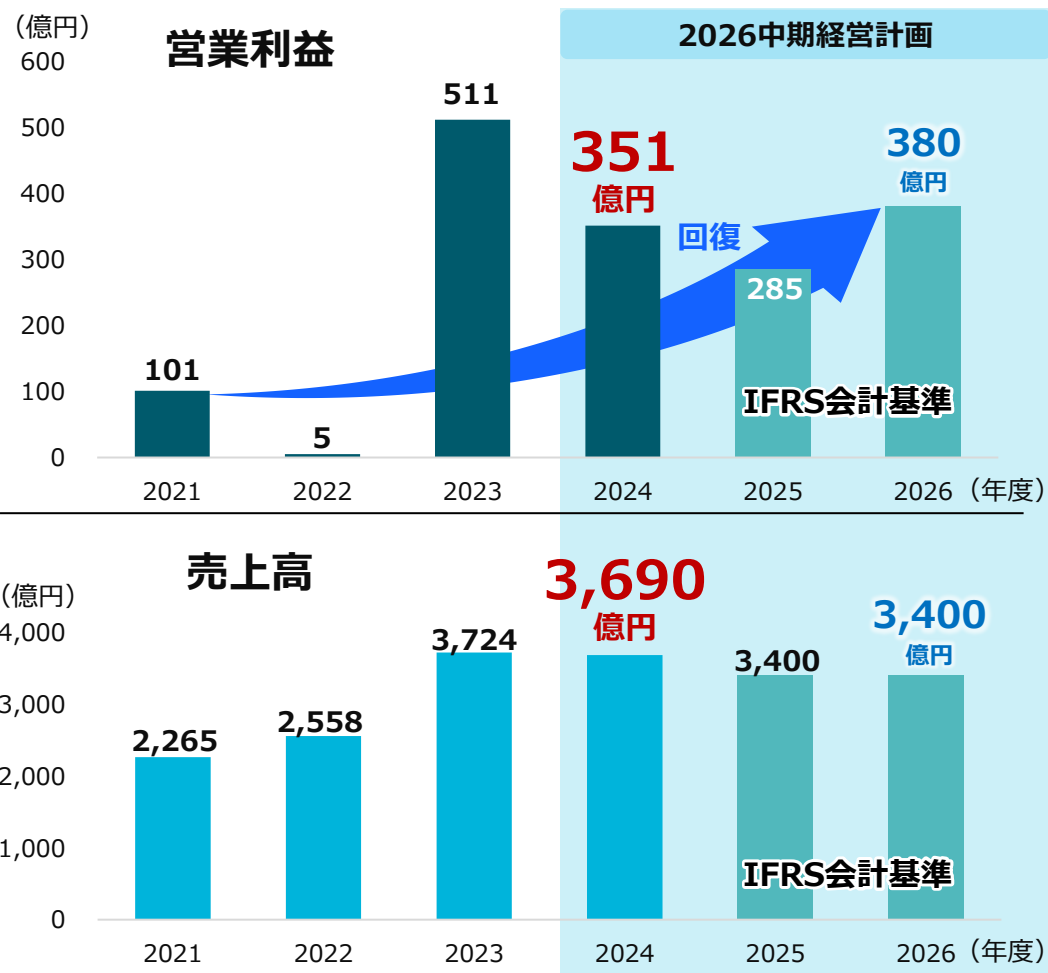
営業利益	351 億円	前期比 31.2%減
------	--------	---------------

親会社株主に 帰属する当期純利益	160 億円	前期比 45.7%減
---------------------	--------	---------------

2026中期経営計画（進捗）

2024年度計画と実績

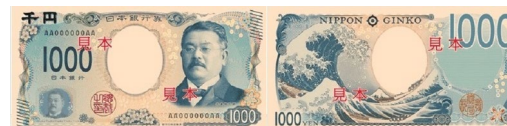
		計画	実績
P / L	営業利益	220億円	351億円
	売上高	3,300億円	3,690億円
	内 新領域事業 売上高	448億円	510億円
効 率 性	ROE 自己資本利益率	のれん償却前 8.3%以上	のれん償却前 10.7%
	ROIC 投下資本利益率	6.6%以上	9.9%
	ROA 総資産利益率	4.2%以上	5.4%



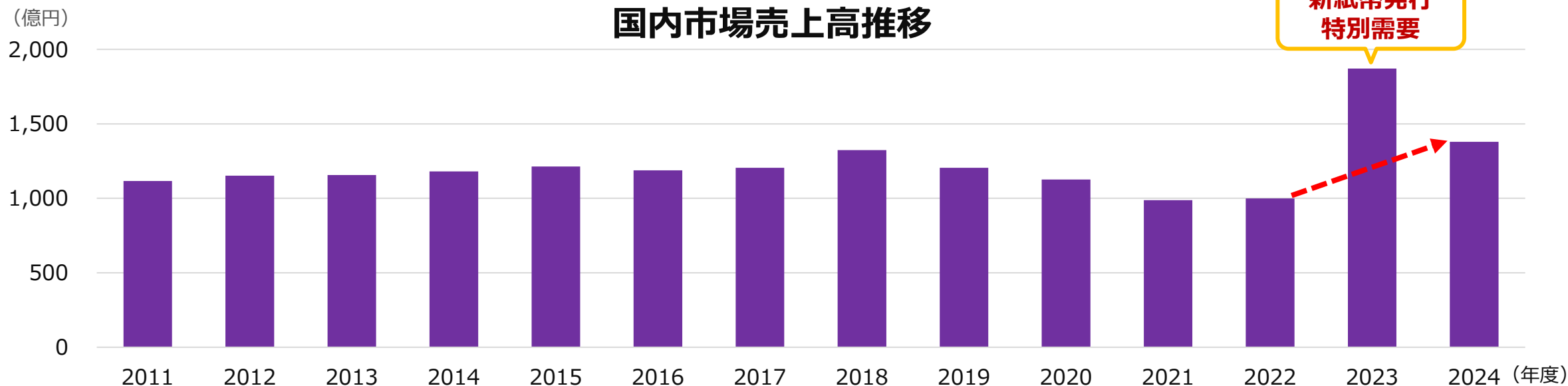
新紙幣発行対応

- ・新紙幣発行に伴う特別需要の反動により減少
- ・新紙幣発行前（2022年度）の売上高を上回る

2024年7月3日 新紙幣発行



新紙幣を使用した実機検査（2024年7月4日撮影）



セグメント別連結業績

売上高 544 億円
営業利益 86 億円

売上高は高水準を維持



金融市場
14.8%

売上高 697 億円
営業利益 98 億円

売上高は高水準を維持



流通・交通市場
18.9%

売上高 277 億円
営業利益 85 億円

売上高は高水準を維持



遊技市場
7.5%

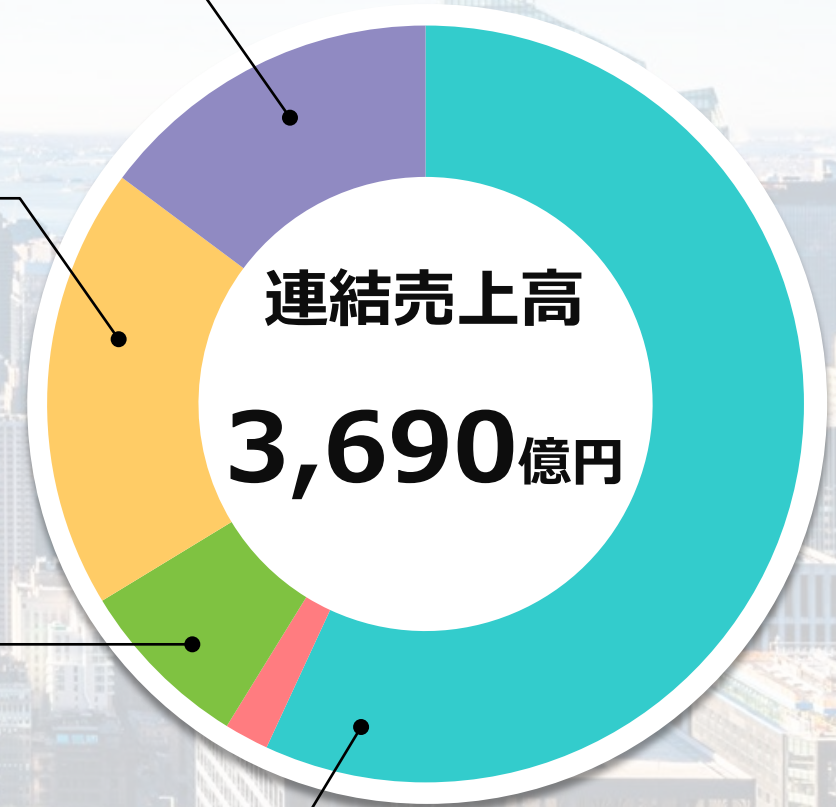
売上高 2,100 億円
営業利益 84 億円

金融市場向け「紙幣入出金機」
米州は低調、欧州は好調

リテール市場向け「紙幣硬貨入出金機」
米州、欧州で好調



海外市場
56.9%



報告事項

2025年度 主な取り組み



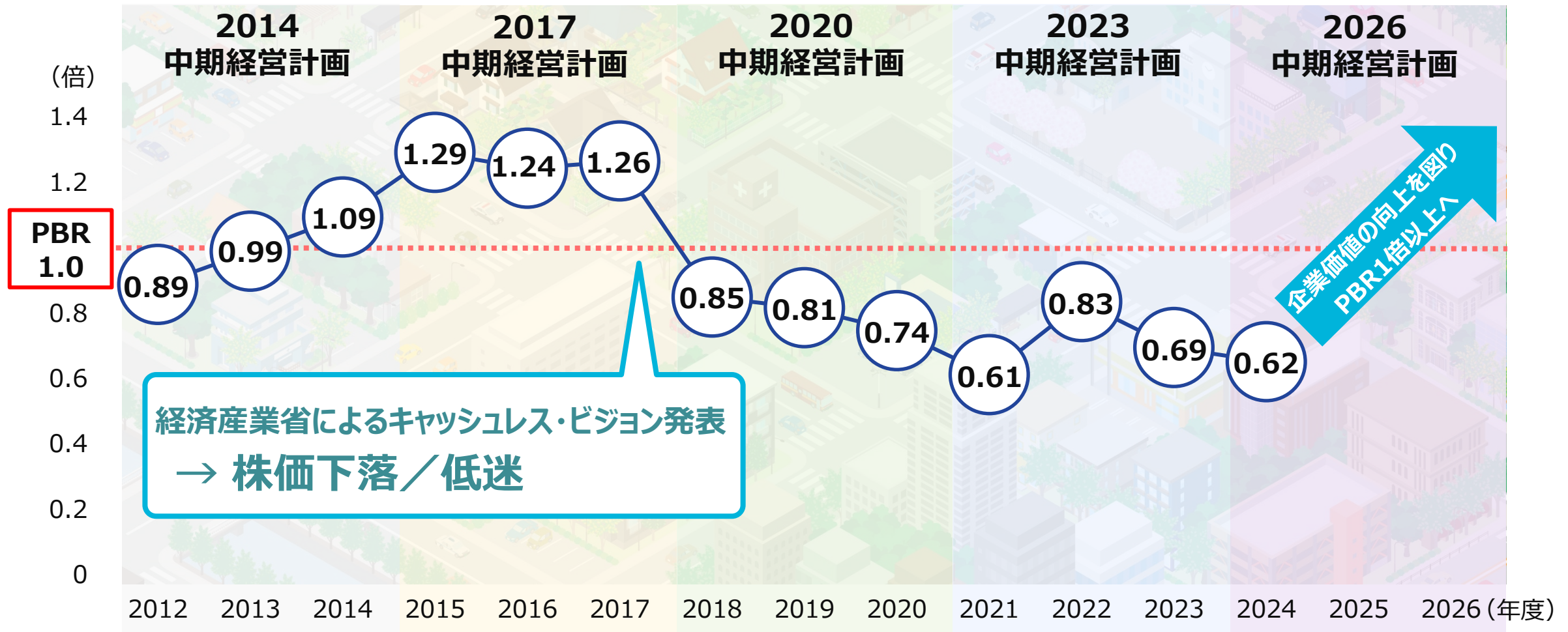
P28～30

企業価値向上への取り組み

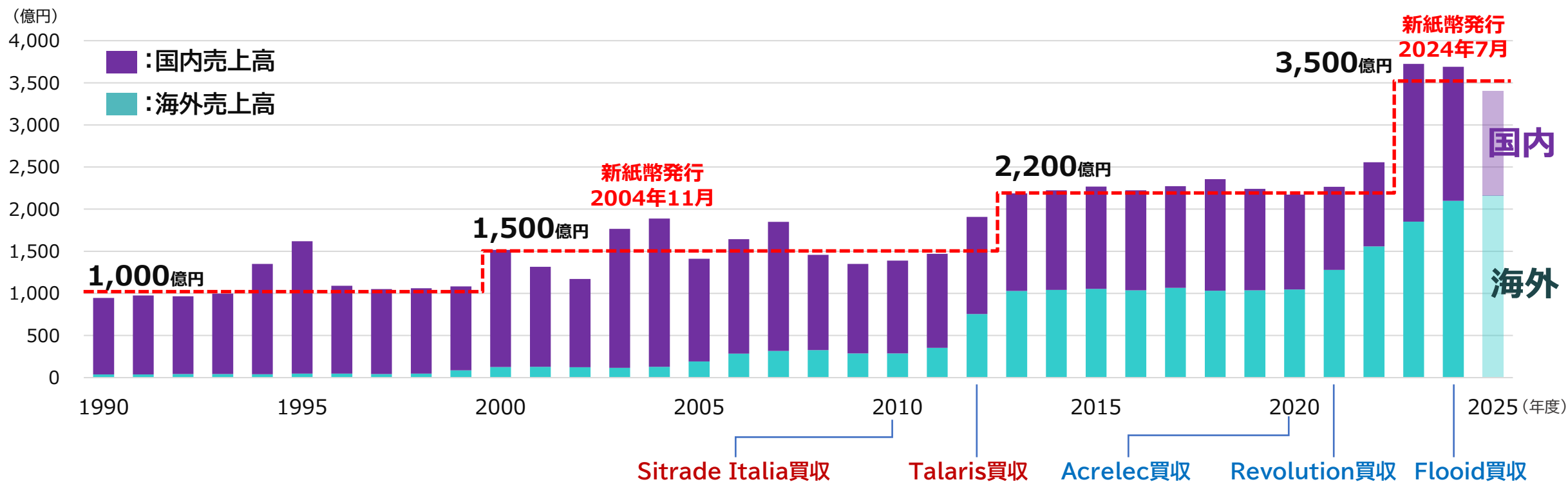
当社PBRの推移

$$\text{PBR (株価純資産倍率)} = \frac{\text{株価}}{\text{1株当たりの純資産}} = \frac{2,626\text{円}}{4,214\text{円}} = \text{約}0.62$$

※2025年3月末日時点の株価



成長の軌跡 ～ 金融市場ではじまり、流通・交通へ、そして海外市場で大きく成長 ～



グローリー製品の展開

～ 今では街のあらゆるところにグローリー製品 ～

海外

飲食店

セルフサービス
KIOSK



ドライブスルーシステム

銀行・郵便局



窓口用
紙幣入出金機



ロビー用セルフ機
テラー・コンシェルジュ

スーパー コンビニ ドラッグストア



レジつり銭機



売上金
入出金機

スーパー・コンビニ・ドラッグストア



レジつり銭機



電子マネー
決済端末



売上金
入金機

国内

遊技施設



賞品保管機 CRユニット



病院

診療費
支払機



医療費
後払いシステム

銀行・郵便局



窓口用入出金機



オープン出納
システム

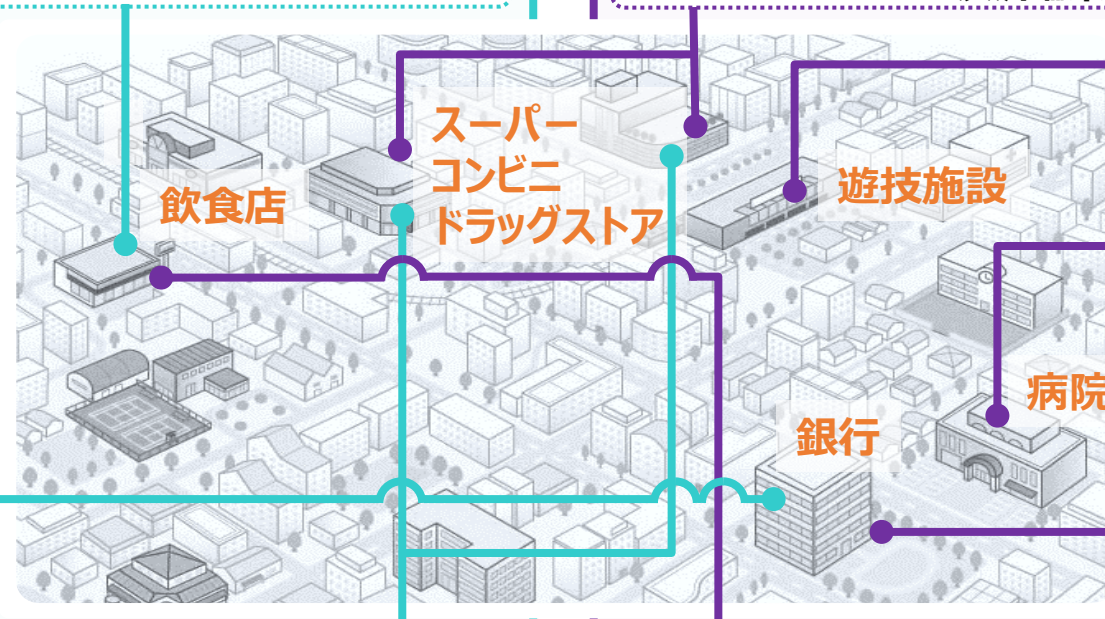
飲食店



タッチ
パネル式
券売機



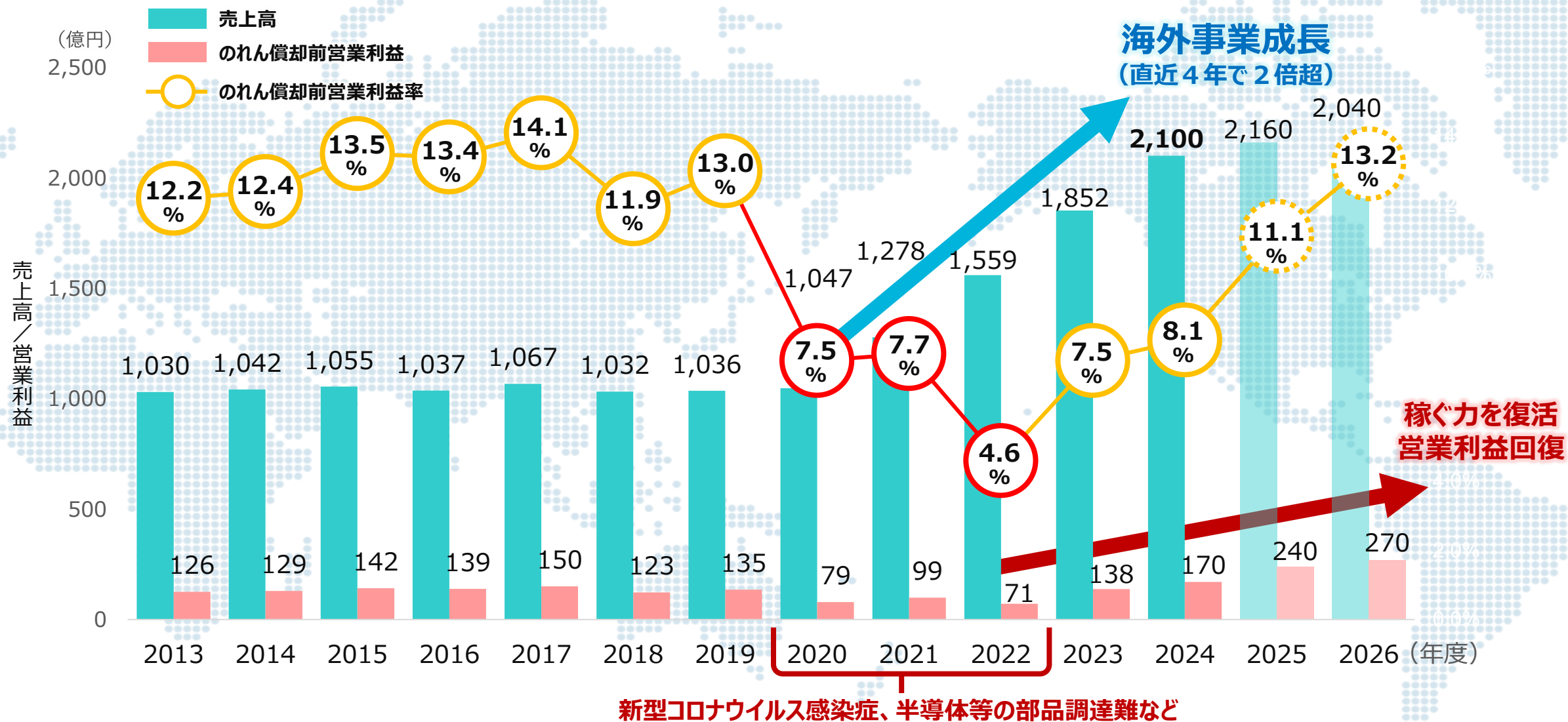
セルフサービス
KIOSK



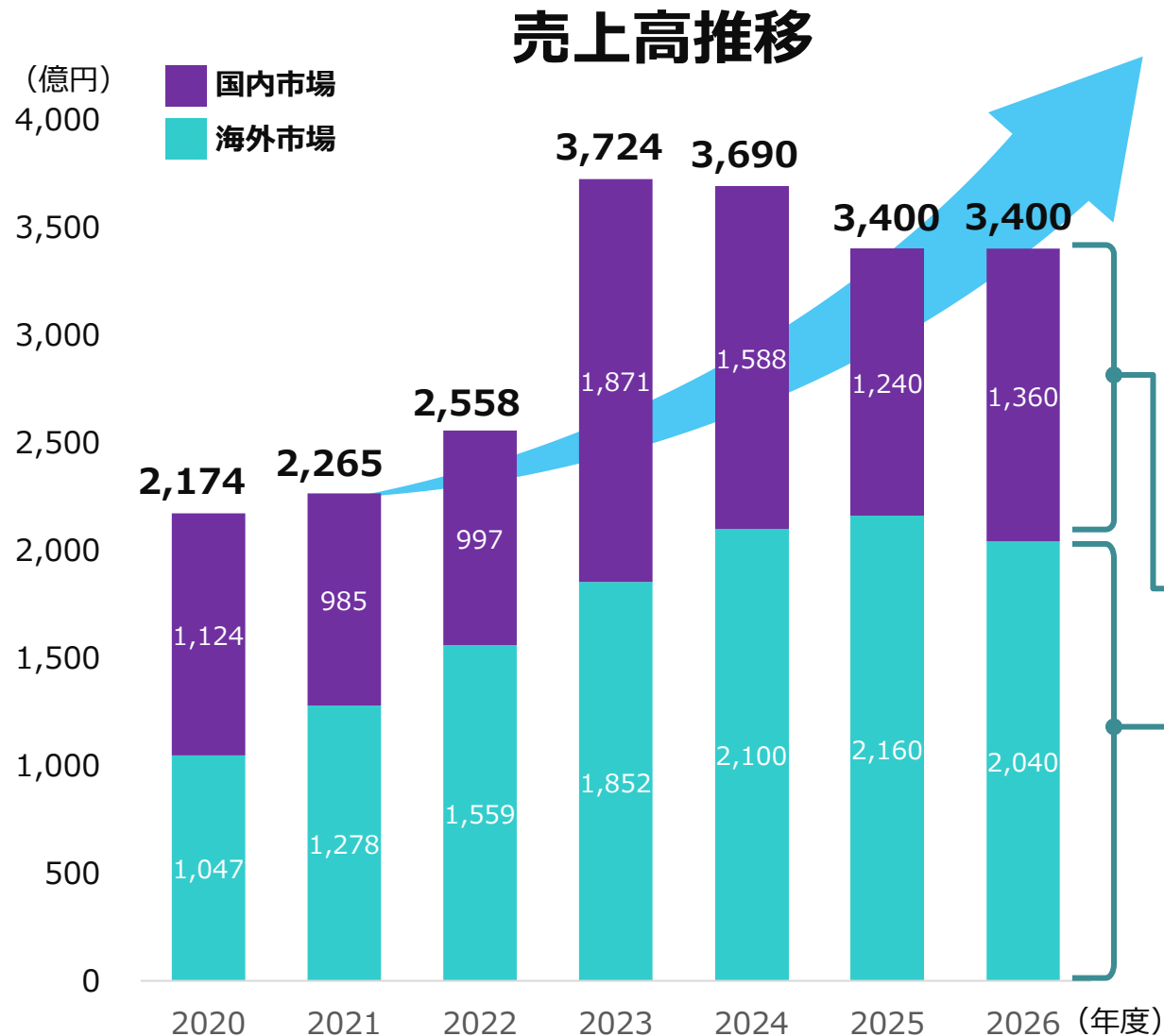
海外事業の進捗

～ 海外事業は2,000億円超、全社の60%強へ ～

海外市場売上高・のれん償却前営業利益 推移



売上高拡大のために



「2026中期経営計画」 初年度アクションと成果

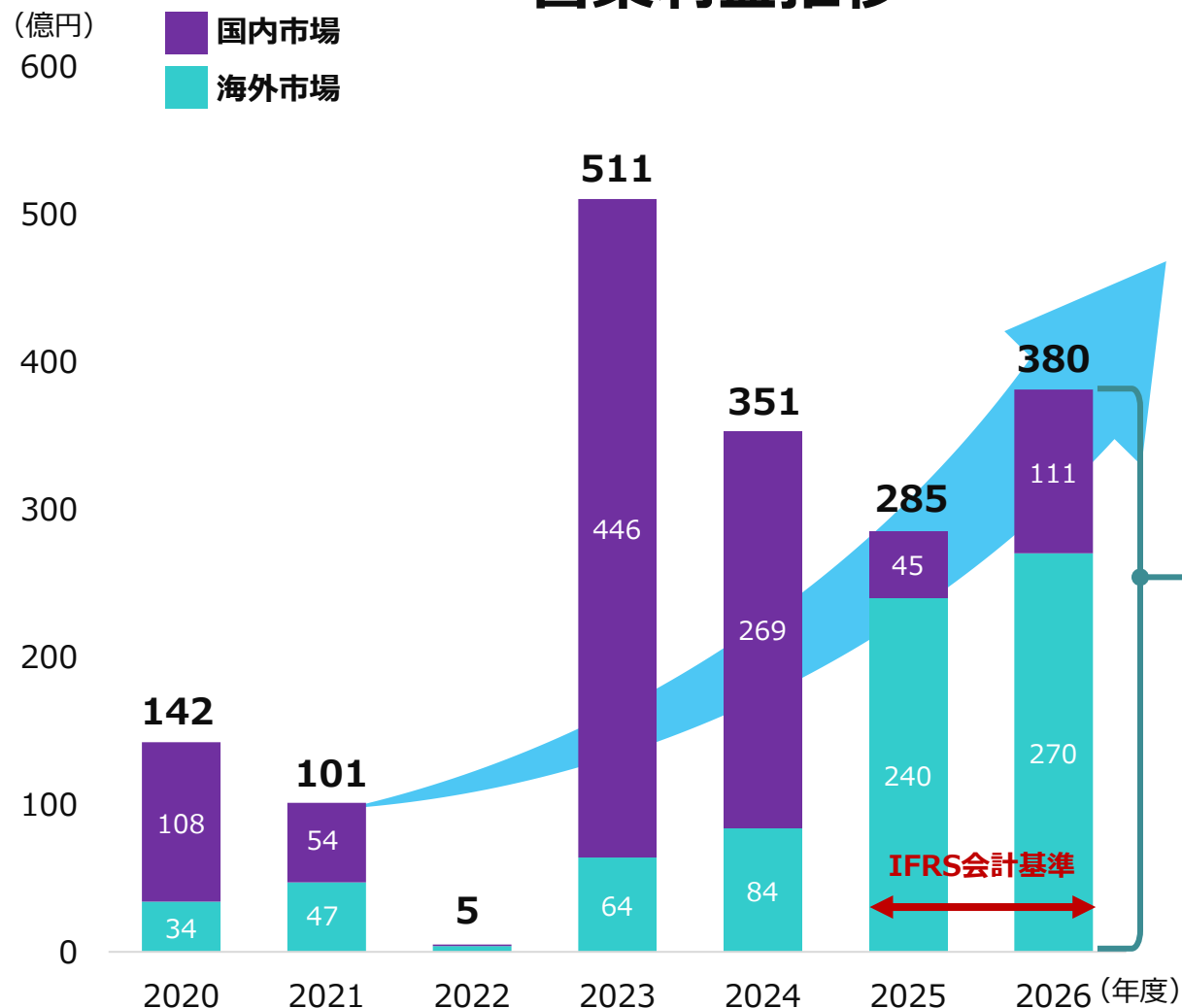
- 国内市場
新紙幣発行対応へ注力
- 海外市場
飲食、リテール市場の売上高拡大
米州での売上高は、1,000億円を突破

2025年度-2026年度のアクション

- 流通・交通市場
人手不足を背景としたセルフ化ニーズを捉えた売上高の拡大
- 海外市場
注力市場であるリテール市場と飲食市場を拡大
- 新領域事業
Acrelec や Flooidの新領域事業ソリューションを加速

営業利益達成のために

営業利益推移



「2026中期経営計画」 初年度アクションと成果

- 国内市場
売上高が減少するなか、高い営業利益率を維持
- 海外市場
Acrelec、Flooidの利益が改善

2025年度-2026年度のアクション

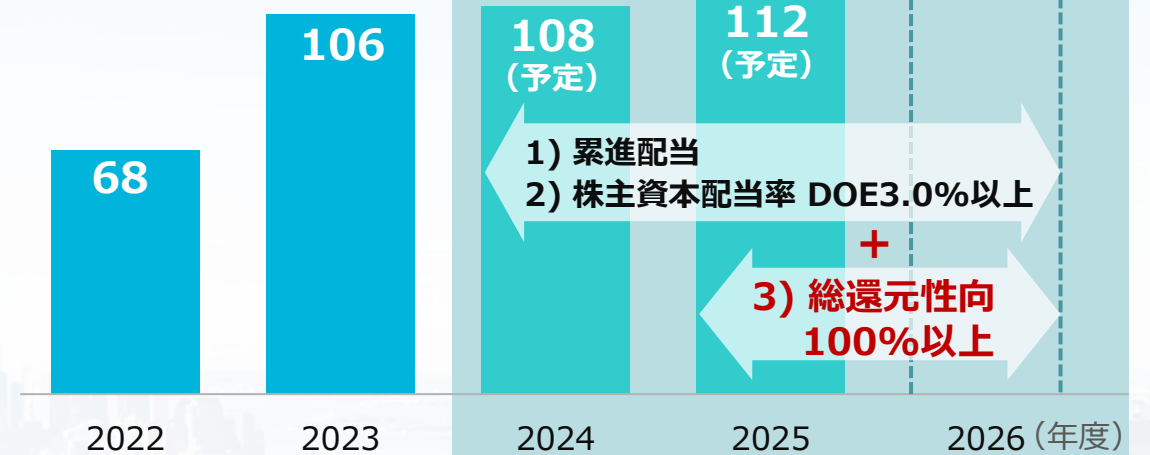
- 買収企業とのシナジーによる収益拡大の早期実現
→ Revolution、Acrelec、Flooid、Showcase Gig など
- 成長エンジンと位置付ける米州事業の高収益化
→ 買収企業との事業統合や保守事業の効率化による収益性改善
- 海外事業拡大に加え、国内回復にて利益拡大

利益配分

株主還元目標

1. 累進配当（2023年度の配当金額を基準として）
2. 株主資本配当率（DOE）3%以上
3. 2026中期経営計画の期間中は
総還元性向100%以上

1株当たり配当金（円）



自己株式取得

取得目的	資本効率の向上
株式取得価額	150億円（上限）, 600万株（上限）
取得期間	2025年5月14日～2026年5月13日
消却の考え方	今回取得分は全て消却

国際財務報告基準（IFRS会計基準）の任意適用



目的

- ・国際的に比較性のある会計情報の開示

適用時期

- ・2026年3月期から

米国の通商政策に関する影響



当社グループの基本姿勢

- ・コスト増加分を販売価格に適切に反映
- ・需要予測に与える影響は不明

業績予想

- ・影響について現在精査中



**企業価値の持続的向上に
取り組んでまいります**

